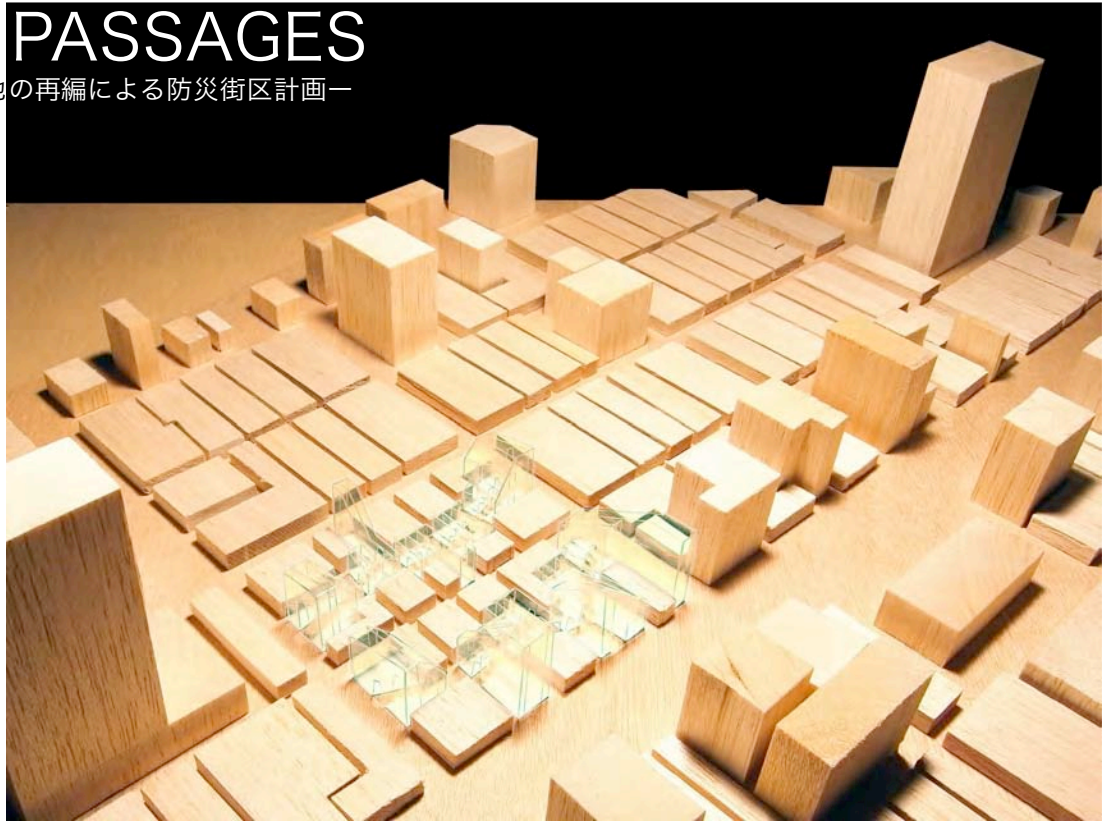


# EMERGENCY PASSAGES

一月島木造密集地域における路地の再編による防災街区計画

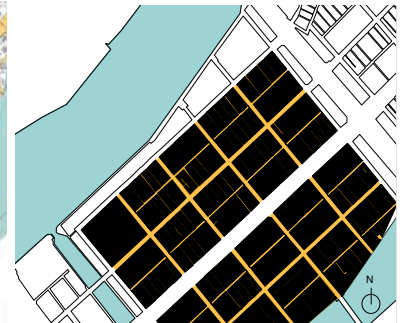
## 1 .conception

東京都中央区の月島木造密集地域は、明治時代に埋め立て地として形成された当初から、路地空間を生活や交流の軸とし、居住と地場産業が混在した地域として発展してきた。近年、建物の老朽化、防災上の不安などの問題が指摘され更新開発が行われる中、都心の業務地区に近い好立地であることから新たな都心居住の場として居住人口は増加している。そのため高層タワーマンション等の再開発が行われ、この地域の軸となっている路地空間が失われつつある。そこで本計画では、地域特性となる路地の魅力を継承しつつ路地を再編することによって、緊急時に避難経路となる路地空間「エマージェンシー・パッセージ」を備えた建築による街区計画を提案する。



## 2 .tsukishima`s urban construction

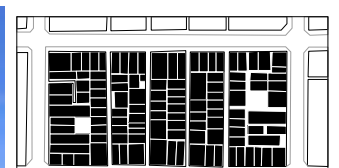
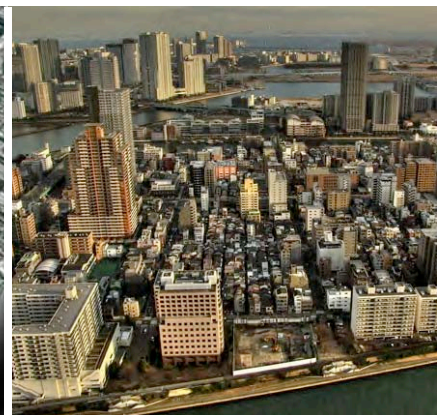
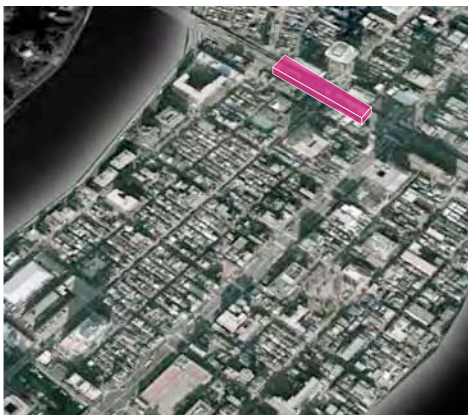
月島地区では明治時代に、江戸の街割りと同じように一辺120mの街区が形成された。街区の間は10.8mの道路で囲まれ、中心を5.4mの道路が貫いている。また街区の中を幅員約2mの路地が通ることで、短冊状に地割りがされている。住戸の窓や玄関は路地に対して直接面し、幅員の狭い路地には洗濯物が干され、植木鉢が並べられている。路地は生活空間の一部となっている。また路地空間は、住民の交流の場として活用され、この地区の地域コミュニティーを支える重要な場所である。



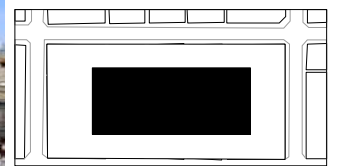
## 3 .a block plan for protection against disasters by restructuring of "Roji space"

### ・都市開発

月島地区は、2010年度に全国で地価が上昇した数少ない地区であり、隣接した晴海地区と同様に高層タワーマンションのスーパーブロック開発が進んでいる。また、都営大江戸線の月島駅ができた2000年以降、中央区、月島地区共に人口が増加している。これは月島地区が都心の業務地区に近く交通の便が良い好立地であるためと考えられる。また新しく居住する世帯が増加していることから、高層タワーマンション等の開発は需要があり開発が進行すると考えられる。しかし、スーパーブロック開発は、居住人口の増加は期待できるが、一つの街区の大半をまとめて開発するため、月島地区の路地空間を消失させる原因となっている。



既存街区



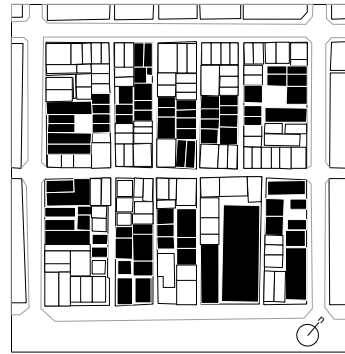
スーパーブロック開発

・防災街区計画

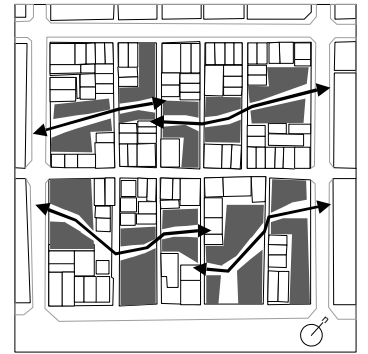
木造の老朽化した建物が多い事から、地震が起きた際には、建物の崩壊と二次災害の火災により大きな被害が出る事が想定される。街区深層部（道路からの距離が近いものを表層部、対して距離があるものを深層部とする）は2mの路地しかないため、建物崩壊によって避難経路が失われる可能性が高い。また緊急車両の進入が困難なことから、消火や救急の対応がとれず、火災が発生した際に大きな被害が想定される。街区内には、危険度が高い街区深層部に既存の路地に直交する動線を、路地を再編しながら確保する。路地の再編により、街区深層部の避難経路の確保と緊急車両の進入が可能になり、街区全体の防災性を高めることができる。この地域の地域性を作り出してきた路地空間を残した街区計画を可能にする。



避難経路が失われる可能性が高い箇所



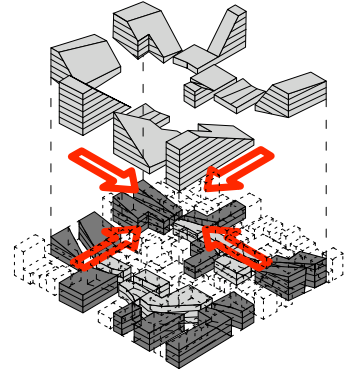
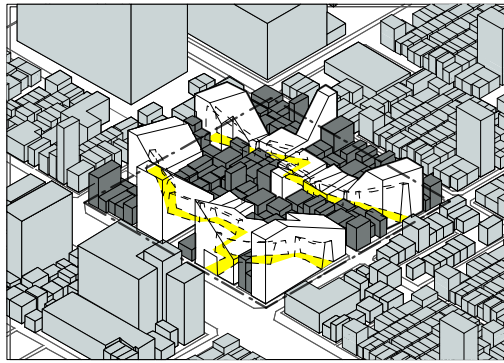
既存路地空間を残した部分的開発



新たな避難経路となる路地  
「EMERGENCY PASSAGES」を再編する

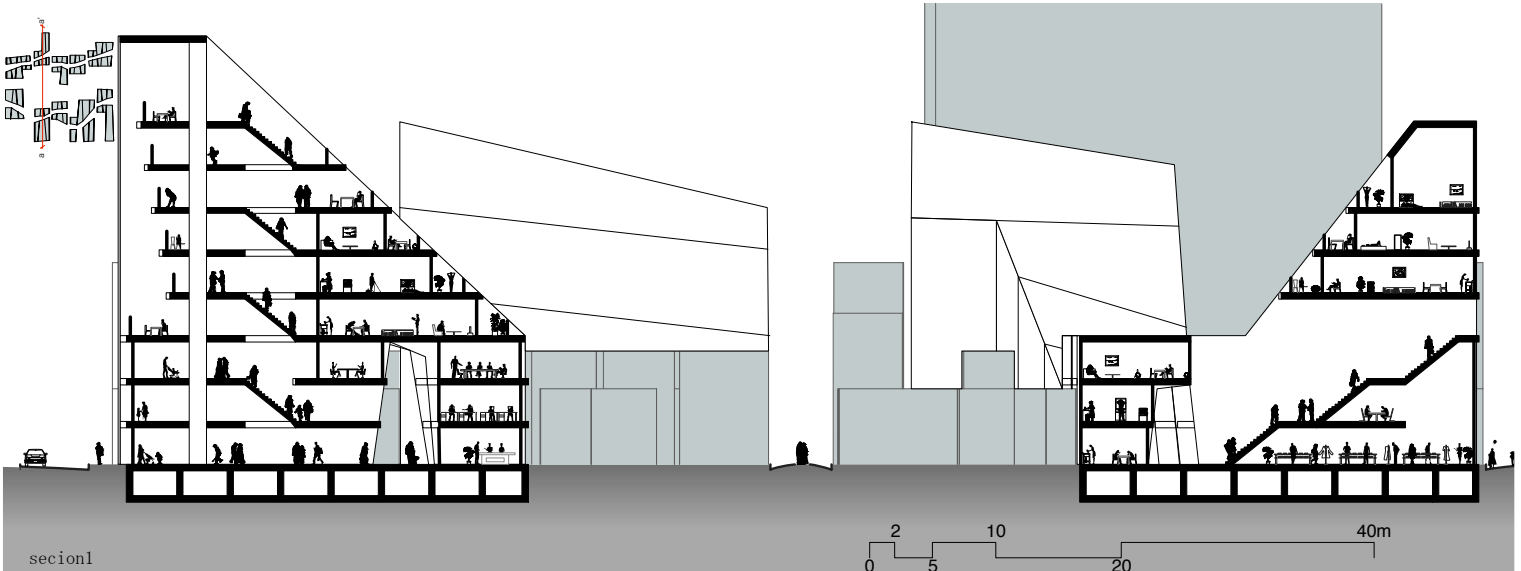
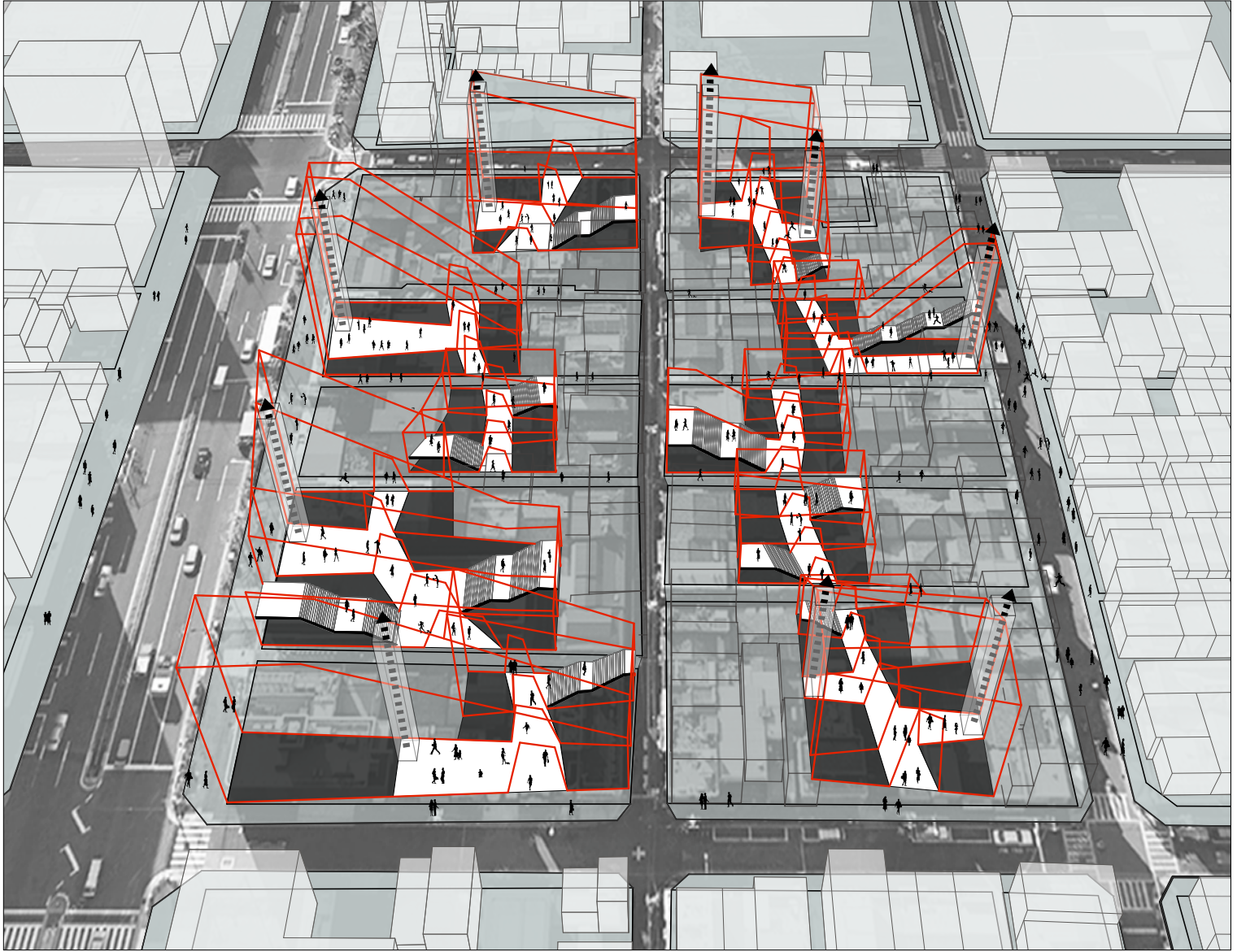
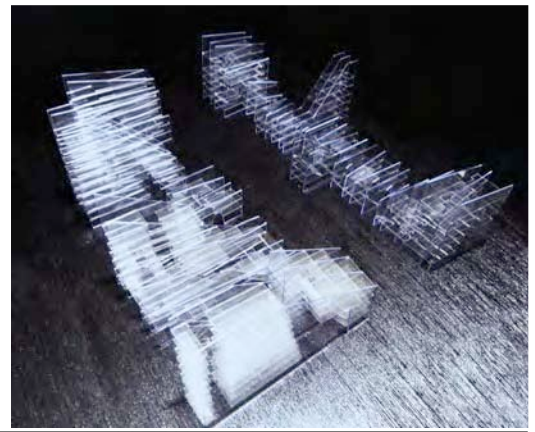
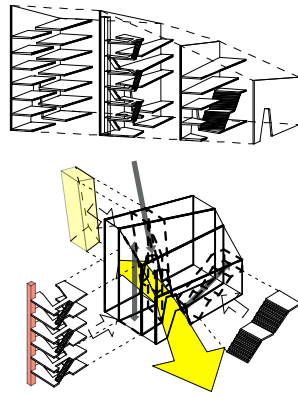
## 4 . EMERGENCY PASSAGES

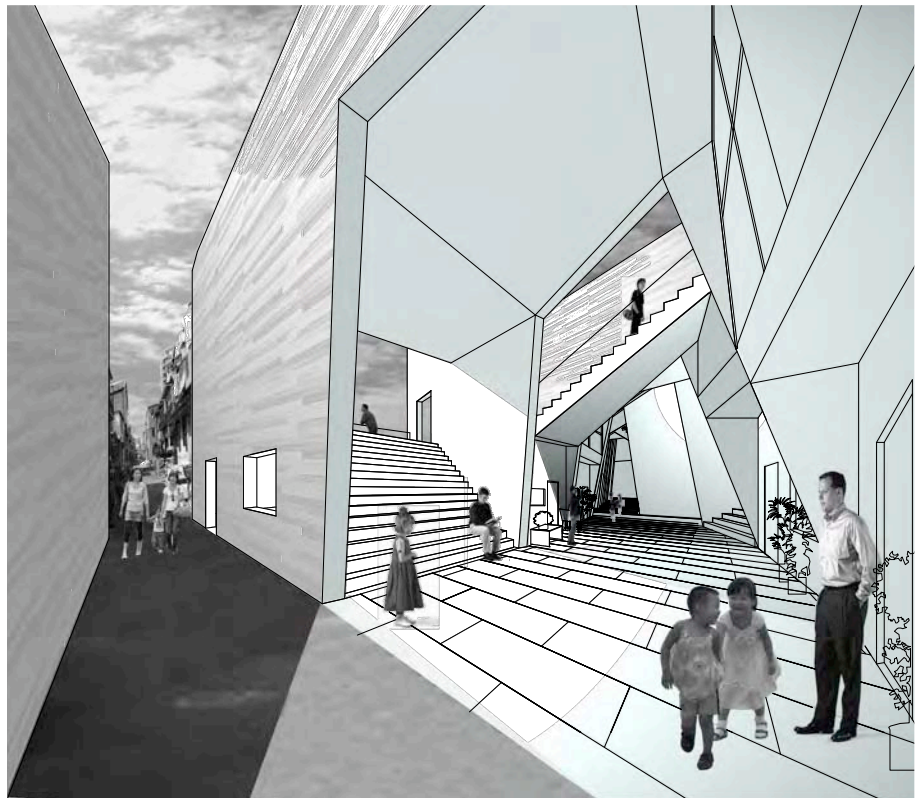
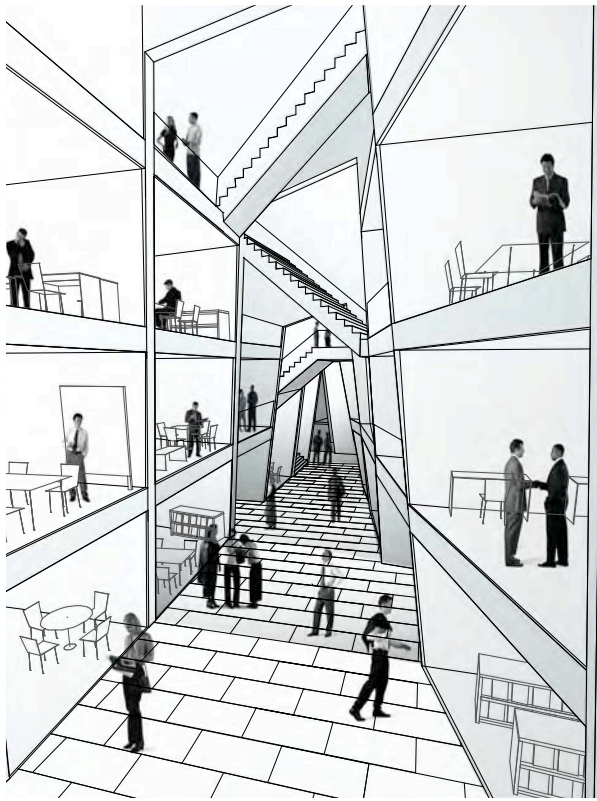
街区において新たな動線となる「エマージェンシー・パッセージ」を備えた集合住宅を計画する。パッセージは建物をトンネル状に通り返ける形となっている。月島地区は職住が混在した地区である。商店街や幹線道路があることから、表層部にはオフィスや店舗が並び、深層部に住戸が並ぶ構成を路地がつくり出している。パッセージに面する低層部は用途によってヒエラルキーを作り出すことで、パッセージに性質の違いを生み出す。また、上層部には住戸スペースを重ねるゾーニングとなっている。パッセージは表層部と深層部を緩やかに連続させる空間であり、深層部の住戸が並ぶ路地に空間の広がりをもたらす。



# 5 . architecture system

建築の基本構成は短冊状の積層したスラブを壁で挟み並列させるシステムでつくられる。このシステムでは壁に挟まれた空間が1つのユニットとなり、それぞれのユニットにライントウェルや垂直動線コア、階段型路地等が設けられる。これらは並立したユニットを横断するパッサージュを表情豊かな空間に作りあげていく。ユニットは建物の高さ、用途によって異なったものとなり、街区の表層部、深層部ごとに特性を持つ。それによってパッサージュも異なった表情となり、既存の路地空間の魅力を引き継ぎつつ街区はより豊かな表情を持った空間となる。





## 6 conclusion

本計画では、都心居住の場として再開発が集中している月島地区を対象とし、明治時代から継承してきた路地空間を避難経路として再編した「エマージェンシー・パッセージ」を備えた建築による防災街区計画を提案した。本計画により、月島地区における、今後の発展と従来の地域性の継承からなる新しい街区開発を示すことができたと思う。

